保険者番号　　被保険者番号　　5320

1	4	2	1	0	9	0	0	0	0	1	2	3	4	5	6	0	3	0	0	0	1

５行目までの行や列の幅、文字の大きさを変更しないでください

認定調査票（特記事項）

記入例

被保険者氏名	調査員氏名	調査日
高齢　介子	三[illegible]太郎	令和6年11月25日

概況調査（調査対象者の主訴、家族状況、調査対象者の居住環境）

長男との2人暮らし。道路から玄関まで10段の階段(手すりなし)がある。
平成29年に脳梗塞発症したが後遺症なし。令和2年頃に両膝関節の手術を施行している。
夜間頻尿でトイレに行く回数は多いが今のところ失禁はない。日常生活も概ね自立しており車を運転して
外出できている。近所に住む友人と一緒にリハビリに通えればと希望。新規申請に至る。

印刷前に以下３点をご確認ください。
○印刷時サイズはA4
○拡大縮小は100%
○余白の大きさは、左は「0.5」で、左以外（ヘッダー・フッター含む）「0」

これまで概況調査下部に記載していた内容を特記事項上部に記載をお願いします。（個人が特定できる情報は除いてください）

1　身体機能・起居動作に関連する項目についての特記事項
1-1 麻痺等の有無, 1-2 拘縮の有無, 1-3 寝返り, 1-4 起き上がり
1-5 座位保持, 1-6 両足での立位保持, 1-7 歩行, 1-8 立ち上がり
1-9 片足での立位, 1-10 洗身, 1-11 つめ切り, 1-12 視力, 1-13 聴力

2　生活機能に関連する項目についての特記事項
2-1 移乗, 2-2 移動, 2-3 えん下, 2-4 食事摂取, 2-5 排尿, 2-6 排便
2-7 口腔清潔, 2-8 洗顔, 2-9 整髪, 2-10 上衣の着脱
2-11 ｽﾞﾎﾞﾝ等の着脱, 2-12 外出頻度

3　認知機能に関連する項目についての特記事項
3-1 意思の伝達, 3-2 毎日の日課を理解, 3-3 生年月日や年齢を言う
3-4 短期記憶, 3-5 自分の名前を言う, 3-6 今の季節を理解する
3-7 場所の理解, 3-8 徘徊, 3-9 外出すると戻れない

4　精神・行動障害に関連する項目についての特記事項
4-1 被害的, 4-2 作話, 4-3 感情が不安定, 4-4 昼夜逆[illegible]きなし
4-5 同じ話をする, 4-6 大声をだす, 4-7 介護に抵抗, 4-8 [illegible]
4-9 一人で出たがる, 4-10 収集癖, 4-11 物や衣類を壊す
4-12 ひどい物忘れ , 4-13 独り言･独り笑い, 4-14 自分勝手に行動す[illegible]
4-15 話がまとまらない

5　社会生活への適応に関連する項目についての特記事項
5-1 薬の内服, 5-2 金銭の管理, 5-3 日常の意思決定
5-4 集団への不適応, 5-5 買い物, 5-6 簡単な調理

6　過去14日間にうけた特別な医療についての特記事項

7　日常生活自立度に関連する項目についての特記事項
7-1障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）
7-2認知症高齢者の日常生活自立度

(1-1.2)	座位にて動作確認。調査の1ヶ月前に階段で転倒し右肩を強打。調査時に痛みの訴えがあったが両上肢の
	規定動作は行えた。両膝関節の手術施行しているため正座はできないが両下肢の規定動作も問題なく行えた。
(1-4)	ベッド上に肘や手をついて加重しゆっくりと起き上がっている。
(1-5)	10分間程度であれば支えなく座位保持可能。
(1-6)	長時間の立位は両膝が痛くなるためできないが10秒間程度であれば支えなく可能。
(1-7)	両膝が痛くなるため長距離の歩行はできないが5m程度であればつかまらずに可能。
(1-8)	畳からの立ち上がりはつかまりながら行うが椅子からの立ち上がりはつかまらずに可能。
(1-9)	柱につかまって片足での立位保持可能。
(1-12)	両眼とも白内障の手術施行済み。日常生活に支障はない。
(2-3)	喉の通りが悪く食べ物が詰まってしまう事が増えたと話していた。時間を掛けながら気を付けて飲み込んでいる
(2-5.6)	夜間頻尿で夜中に１～２回トイレに行っているとの事だったが失禁はない。トイレを使用し自立。
(2-12)	内科(月1回)整形外科(週1回)自分で車を運転して通院している。
(3群)	特記なし
(4-4)	睡眠導入剤を服用。問題ない。
(4-12)	加齢に伴う物忘れ程度はあるが日常生活は概ね自立している。
(5-1)	薬を飲み忘れる事があるも頻度は少ない。日頃は問題なく自立。
(5-3)	特別な事柄を決める時には長男に相談して決めている。
(5-5.6)	長男による全介助。
(6群)	特記なし
(7-1)	両膝に痛みが出るため長距離の歩行はできないが自分で車を運転し外出している。　　「J1」
(7-2)	加齢に伴う物忘れ程度はあるが日常生活は概ね自立している。　　「I」

可能な限り各群の間を１行空けてください
ただし、空けたことで２枚目になってしまう場合は詰めていただいて結構です。

62行で収まらない場合には、２枚目を使用してください。